

副会長の報告

期 日 平成二十一年

八月三日(月)

会 場 全国連合退職校長会

会議室

出席者

廣瀬 久 会長

平間 吉春 副会長

北 小嶋 久人 副会長

東 北 陸 副会長

東 太田 秀 副会長

東 飯田 宗映 副会長

東 飯田 宗映 副会長

近 浅田 弘 副会長

中 佐藤 博文 副会長

四 橋本 正範 副会長

九 中村 貞夫 副会長

他に、各部長、各委員長、事

務局長及び事務局員、計十三名
が出席。

◇会議の概要

司会 戸張敦雄 総務

一、開会のことば

橋本 正範 副会長

て地区協議会が行われ、その中
身が年々充実してきていること
に、感謝申し上げます。

全連退(本部)は中央省庁、
とりわけ文部科学省との関係は
良い状態です。先日、退任する
銭谷眞美事務次官に挨拶に伺い
ました。日を改めて坂田東一新
事務次官を表敬訪問して、お話
の時間をとって頂くことができ
るようになりました。

また、厚生労働省については
日本退職公務員連盟と連携して
要望書の提出等、緊密な連携に
努めています。

さらに、現職には成し得ない
国会議員等への働きかけは、全
連退や退職校長会が担っていく
ことも考えております。

このような、本部の省庁に対
する努力や各都道府県、各地区
における運動等とが連携するこ
とにより、日本の教育の振興・
充実や会員の福祉の向上が期待
できます。副会長の先生方のい
っそうのご尽力を希望いたしま
す。

いただくとともに、先生方の各
地区の現状や課題のお話しは、
本部の活動に活かしてまいりま
す。

副会長の先生方には、各地区
で連絡調整・本部との連絡等に
ご苦労をいただきますが、よろ
しくお願いいたします。

三、報告

1 総会・常任理事会の報告

入子祐三総務部長

(略)

2 各部、各委員会の事業の進捗状況

総務部

- ・理事会、総会の準備・運営
- ・中央省庁への要望書提出
- ・文部科学省初等中等教育局長との懇談会の企画
- ・現職五校種校園長との連絡懇談会の実施

教育振興部

- ・家庭、地域住民の教育上の役割と責任の研究
- ・「教育の日」の制定推進
- ・「教育憲章(案)」の検討

- ・関係機関に意見具申・提案

福利厚生部

- ・平成22年度に米寿・上寿を迎える会員の調査の実施
- ・平成21年度春秋の叙勲受章者の調査実施
- ・再任用・再雇用の具体例をまとめる

会報部

- ・年4回の会報の発行 1月と3月の会報は新会員勧誘支援用として希望都道府県に増配

会計部

- ・会の活動・事業の円滑な運営のための予算執行。会員減少傾向等の深刻な課題への対応
- ・財政健全化会議(仮称)の設置
- ・平成21年度地区連絡協議会補助金について

生涯学習委員会

- ・地域の教育振興に寄与している会員情報を収集し、生涯学習のあり方を探る

- ・地域の教育力の回復・向上への退職校長の役割事例の収集
- ・学校支援地域本部事業への退

二、廣瀬会長挨拶(要旨)

各地区で地区の実状にあわせ

副会長会では各地区の実状や
悩みをお出しいただき、地区の
実状に合わせた活動に役立てて

職校長の参画状況調査

教育課題委員会

- ・今後の学校教育のあり方研究
- ・新学習指導要領実施上の諸課題を研究し、関係機関へ意見具申、要望、提言をする
- ・当面する教育課題の研究

事業委員会

- ・各都道府県の研修事業の実態等を探り、全連連主催・共催・後援のあり方を検討
- ・次期出版図書について、その方向性を検討

3 各省庁への要望書

- ・内容の詳細は本誌P2～3参照

四、意見交換

1 副会長会の申し合わせ事項について

平成二十年度副会長会で決めた「申し合わせ事項」について協議し、確認した。

2 各地区の現状と課題

①北海道 会長 平間吉春

- ・正会員の減少のなかで、加入促進の取り組みをしている。

「退職校長の全員加入」を目指し、現職四校種校長会と連携を強化して、準会員制度の理解につとめている。

- ・退職校長会の在るべき姿と会員意識の変化を特別委員会を設置して検討する。
- ・「北海道教育の日」道民運動推進協議会の活動について。

②東北 会長 小嶋久人

- ・東北地区協議会の持ち方についての説明。
- ・第37回東北地区退職校長協議会の計画の概要。協議題「組織の拡充に努め、効果的な活動を展開するには」

③関東甲信越 会長 大山 睦

- ・加入率が高いが、新会員の勧誘の苦勞もある。支部活動の充実向上に努めている。
- ・関東甲信越地区協議会の計画の概要。協議題「教育支援、社会貢献活動への取り組みの進め方」。

④東京 会長 太田 秀

- ・公立学校の管理職登用の状況と問題点。
- ・近年の入会希望者の減少で若

年者の減少と高齢化が会運営に影響。

- ・再雇用・再任用等の行政施策、大学等の雇用がゆきわたり、互助・親睦を目的とする退職校長会への期待が薄れている。
- ・教育管理職登用の課題と問題点。

⑤東海北陸 会長 飯田宗映

(文書資料)

- ・平成21年度地区協議会協議内容等については集約中。地区協議会の会則については協議を深める。
- ・公立学校の管理職登用の課題問題点について。

⑥近畿 会長 浅田 弘

- ・役員の高齢化が課題、若返りを図る。
- ・新人会員の加入促進、途中退会の防止が課題。支部・地区退職校長会の活動の活発化。サークル活動や同好会等の交流推進。

- ・現職校長を準会員として定着を図る。現職校長との連携を図り、情報交換・交流を推進。
- ・近畿地区協議会の計画概要協議題「組織の活性化に向けた事業の推進と課題」。

⑦中国 会長 佐藤博文

- ・毎年1回輪番開催の連絡協議会では各県の特色ある発表と協議が行われ、各県退職校長会の振興に役立っている。
- ・平成21年度地区協議会の計画概要。

⑧四国 会長 橋本正範

- ・公立学校の管理職登用の課題、問題点。
- ・県により退職校長会の組織構成、結成の目的、活動内容に大きな違いがある。共通の議題立案が難しい。
- ・地区協議会の計画進行状況。
- ・公立学校管理職登用については適切に行われている。

⑨九州 会長 中村貞夫

- ・加入率は95%と良い。
- ・九州地区退職校長会協議会は五月に実施。市町村合併に伴う組織の実情と小中高の統廃合の課題について協議した。
- ・協議会と同時に開催した会長部会では学校支援活動のあり方、退職校長会の組織・充実、活性化について意見交換した。

五、閉会のことば

中村貞夫副会長